MATOBA JOURNAL

One Osaka!　大阪維新の会（おおさかいしんのかい）

堺市議会議員 まとば慎一市政報告

堺市議会議員 的場 慎一

ごあいさつ

堺市議会議員　まとば慎一

現在も新型コロナ感染症拡大のご不安でお過ごしのことと思います。日頃より皆様に多くのお声を頂き、行政に反映させるため邁進しております。私たちの社会生活は大きく変わり、今後さらなる経済の影響も懸念されています。非常時だからこそ取り組まなければならない仕事はまだまだ沢山あります。また、10月14日に行われた市長会見では厳しい堺市の財政が報告されました。堺市の次年度予算時は135億円の財源不足の非常事態。このままでは基金も底をつき令和4年度には予算が作れない状況。前竹山堺市長は毎年の収支不足が約90億円でありながらハコモノ行政断行。その建設費返済や運営費の影響も大きい。永藤市長は歳出10%削減を目標に改革を行うと意思を示しました。大変厳しい状況ですが、今後も皆様の貴重なご意見を頂きながら、また、新しい手法や挑戦を行い、可能性を見出して議会活動へ邁進いたします。

大阪維新の会 堺市議会議員団 代表 就任しました！

今年度から「大阪維新の会 堺市議会議員団」において代表に就任いたしました。18人の議員団の運営に尽くして参ります。また、常任委員会は文教委員会委員長に就任致しました。市民の声を伝えるため委員会運営に尽力致します。

堺市独自のコロナ対策抜粋

新型コロナウイルス感染症に対する、堺市の取組や支援策の一例をご紹介いたします。

医療体制の強化

速やかに検査するための体制を整えています。

- **PCR検査体制**
  →機器・人員を増員
- **保健所の体制**
  →人員増強、クラスター対策班を編成
- **医療物資の確保**
  →市内医療機関 2～3ヶ月分を備蓄

など

子育て・教育

子育て世帯の生活を支援、教育環境の整備を行っています。

- **堺市新生児臨時給付金**（1人5万円）
- **第1子、第2子0～2歳児保育無償**（R2年3月～6月）
- **収入大幅減世帯の保育料減免**（R2年8月～R3年3月）
- **小中学校１人１台パソコンを今年度中に配布**
- **給食8～10月無償化**
- **学校トイレの清掃委託**

その他

その他、堺市にお住まいの方にとって生活を支援する対策を幅広く行っています。

- **支援を受けるための証明書手数料免除**（R2年12月28日まで）
- **水道基本料金80%減**（R2年6月～9月）
- **コロナ受信相談センター設置**
- **解雇などで住宅なくす方へ市営住宅提供**
- **各種届出、保険料などの減免**
- **オンライン就職支援相談を導入**
- **店舗キャッシュレス、ポイント還元**（R2年11月の1ヶ月間）
- **介護サービス事業者への支援金**

まとば慎一、取り組み継続中です！

皆様のお声を実現に向けて取り組んでまいります。

学校給食費の公会計化

給食費の管理を学校から行政へ移す。支払い方法も多様に。先生の負担も軽減となる。現在、実施に向けて進めるよう取り組んでいます。

最先端の図書館へ！

多くの皆さんの図書館に対しての要望が寄せられています。これからの時代に合った最先端の図書館運営に向けて何年も議論を続けています。そんな中、公衆Wi-Fiの設置が行われることになりました。順次設置工事を行い、来年3月には全ての図書館でWi-Fi使用できる様に計画を進めています。今後は民間のノウハウなどを活かして抜本的な図書館改革に取り組んでいきます。

議員報酬削減について

コロナ禍においては市民の皆さんに大きな影響が出ています。そんな中、他会派にも合意を取り付け、堺市議会議員の報酬15%削減することになりました。期間限定ではありますがコロナ対策へ削減分は充てられることになります。維新の会は独自にプラス5%を削減し、議員報酬20%削減を続けています。

泉北高速鉄道乗り継ぎ改善

議員就任時から取り組んでいます。現在まで様々な質疑を行い、可能性を追求しています。昨年から堺市が主体的に取り組むようになってきました。実現に向けて諦めず、今後も邁進し結果を出してまいります。

告知

LINE通報システム

堺市建設局では、市民の皆様から「LINE」を通じて情報提供をいただき円滑な対応に役立てるため、堺市建設局LINE公式アカウントを開設します。本市の管理する道路、公園の損傷情報をLINEのチャット上で簡単に通報可能となります。市民の皆様からの情報提供をお待ちしています。

友達登録はコチラのQRコードから！

キャッシュレス決済を活用したポイント還元キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により落ち込んだ市内消費を、積極的に喚起し地域活性化を図るとともに「新しい生活様式」であるキャッシュレス決済の普及促進を図るため、本市独自のポイント還元キャンペーンを実施します。

詳細はコチラから！

■SNS　SNSからも様々な情報を発信しています！

的場慎一　検索

twitter アカウント　@matobashin

twitter アカウント　shinichi.matoba.9

■ネットラジオ配信中！

聴きたい時に聴ける！まとば慎一のネットラジオ、Podcastにて配信中！ゲストなどもお招きしてお送り致しております。私のホームページかPodcastアプリで「的場慎一」と検索下さい！

■市政に関する相談やお問い合わせは

大阪維新の会

まとば慎一 市政相談事務所まで！

〒590-0103 堺市南区深阪南 342-12

☎072-230-1887

WEB:http://www.ishin-matoba.com/

前竹山堺市長最後の予算に対する決算議会 令和2年度第4回堺市議会定例会

今年8月28日堺市議会本会議場にて会派代表質問を行いました。

前竹山堺市長のハコモノ行政の影響が！

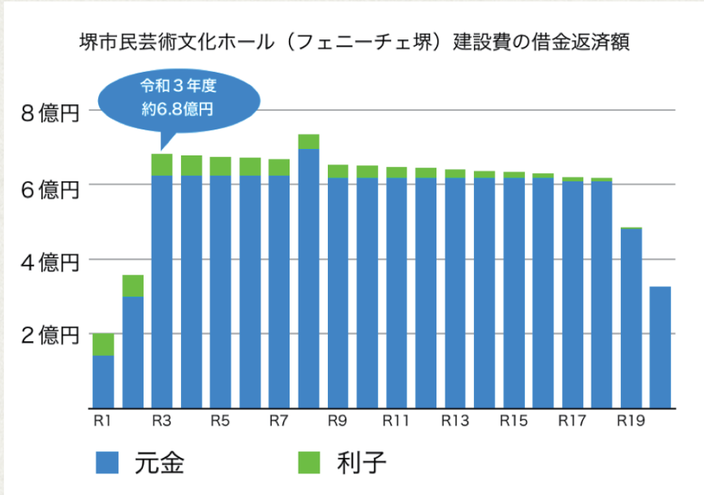
決算の状況について質疑。収入に対して義務的支出の割合を示す「経常収支比率」が初めて100%を超える決算となった。新たな政策を行う余力の弱さが現れ、大変厳しい決算となっている。原因として、上昇する扶助費に加えてフェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）の運営費があげられた。この時代にこれまでの2倍規模で建設されたホール。多額の建設費や運営費の問題で我々維新の会が反対していた。前市長のハコモノ行政の影響がいよいよ堺市政を圧迫し始めた。堺市の財政シュミレーションでは毎年40～50億円の財源不足が発生するとされているが、これは最終決算ベースであり、予算編成時にはさらに大きな数字になると思われる。（10月14日の市長記者会見では来年予算時には135億の財源不足と発表。永藤市長は10%の歳出削減の改革を進めると会見。）昨年、永藤市長は総額約80億円の大型事業を見直したがそれでも厳しい決算となった。この事業見直しがなければ今回の決算だけではなく将来的な影響もあったと財政局の答弁があった。

財政改革が求められている！

構造的な財政不足を改めるため、強力に改革を進める必要がある。また、コロナ禍の影響で税収が下がることも予測される。死守する住民サービスのため、様々な事業見直しをさらに進める事を意見。また、前市長時代に多用していた「健全化判断比率」は破綻しないから健全だという指標であり、財政戦略上新たな分析指標を持つことが必要と求めた。答弁としては単年度の改革目標設定を示していくとのこと。

改革を進めよ！

改革の中には継続する事業を効率化、または運営費を抑えていくことも必要と意見。その中で大規模に建て替えられた市民会館、フェニーチェ堺の運営費を例に質疑。運営費には著名なアーティストの公演を実施するため税金で補填するためのコストも多々含まれている。会館のオープンに向けて計画されていたものだ。著名なアーティストを呼ぶ度にお金を補填していては運営費がかさ張るだけだ。この様なスタイルで事業を拡大していくのは堺市の財政的にも厳しいと意見。運営のあり方について検討が必要と意見した。また、堺市も協力し、会館が自主事業を行い収益を得る挑戦も必要と意見。また、会館を運営する事業者は堺市の外郭団体である。しかも非公募でオープン前から決められている。これを改め、民間も含め幅広く会館運営の提案を受けるべきであると意見した。このようにフェニーチェ堺だけでなく全ての事業の運営について見直していくところを見出し、挑戦していくことを求めた。



フェニーチェ堺の今決算の運営費（指定管理料）は約7.7億円、建設費の返済金は元金と利子で約2億円。合わせて約9.7億円の支出となった。令和３年度からの返済額は約6.8億円に跳ね上がる。仮に今回と同じ運営費7.7億円とすれば返済と合わせて14.5億となる。

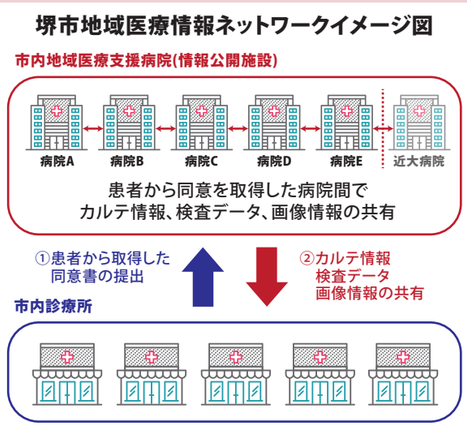
扉を開けて、堺の発展を目指す！

今後、堺市の発展については大阪府市と連携して進めていくことが必要であると質疑。前市長時代のように連携が弱く独自路線では堺の発展は見込めない。永藤市政では大阪府市と連携を強化して民間投資も高める方針。現在連携で進めているベイエリア開発や、なかもず地域の産業集積について質疑。大阪府市と現在協議して進めているベイエリア開発では海上・陸上交通、賑わい創出、街づくりに繋げていくことを目標としている。一方、なかもずの産業集積については旧府大キャンパスや大阪府市、民間企業とも連携しICT関連企業の集積を目指している。連携して投資効率を上げて堺の発展が市民に見える形で結果を出すよう求めた。

まとば慎一のこれまでの取り組みが実現に！

実現

かかりつけのお医者さんと主要病院との医療ネットワークの構築



選挙の時にお訴えさせて頂いてました、医療ネットワーク構築に向けて取り組んでまいりました。普段はかかりつけのお医者さんで診て頂いて、大きな病院で検査などが必要になった際、手ぶらで行けるようなネットワーク。いよいよ来年4月スタートに向けて準備会を発足し進めています。今後、南区では近大病院開業も予定されています。さらに高度な医療にもつながるネットワークへ。また、情報共有できる手厚い在宅医療にも貢献できるネットワーク構築へと今後も取り組んでまいります。

市民のメリットは？

- かかりつけ医さん（診療所）から大きな病院で検査が必要になってもレントゲン写真などを持参しなくて良い。
- 大きな病院で行った検査結果が、かかりつけ医さん（診療所）で確認できる。市民は結果を踏まえた治療を速やかに受けることができる。
- 検査が重なったり、過剰な投薬を抑え市民の負担が軽減する。
- 転院の時や在宅医療への移行も円滑になる。
- 診療情報が共有されるため医師は患者の豊富な情報が得られる。結果、医療の質が高まる。
- ネットワーク内の病院に救急で運ばれた時も診療所でのデータが共有され安全に。

実現 中学校給食完全実施

堺市は実施を決定し、現在センター方式にて計画を進めている。令和7年度スタートに向けて計画が進んでいる。

実現 依存症対策

政令指定都市初めてとなる「依存症の地域支援計画」策定が決定。

実現 小学校の教科担任制

高学年の教科担任制を今年4月から随時実施することになった。

実現 一人親支援・養育費確保

養育費確保支援事業が今年9月からスタート。保証会社への保証料を補助。